

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及び MEP を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法	
樹木類	アブラムシ類、ゲンバイムシ類、フラーパラゾウムシ	1,000	200～700ml/ 平方メートル	－	6回以内	散布	
	アメリカシロヒトリ	500～1,000					
花き類・観葉植物	アオムシ、バッタ類、ハマキムシ類、アザミウマ類	1,000	100～300ml/ 平方メートル	－	6回以内	散布	
ばら	アブラムシ類、フラーパラゾウムシ						
きく	アブラムシ類、カメムシ類、ヨトウムシ類、フラーパラゾウムシ						
つつじ類	ゲンバイムシ類、ハマキムシ類		200～700ml/ 平方メートル				
カーネーション	アザミウマ類、クロウリハムシ		100～300ml/ 平方メートル				
宿根かすみそう	ハモグリバエ類						
アスター	ウリハムシ						
ソリダゴ	カメムシ類						
スターチス	コガネムシ類						
シネリリア	シンクイムシ類						
斑入りアマドコロ	コウモリガ						
ききょう	ヨトウムシ						
りんどう	ヒラズハナアザミウマ		発生初期				
せんりょう	アザミウマ類、カメムシ類		200～700ml/ 平方メートル				－
こでまり	カイガラムシ類						
しきみ	クスアナアキゾウムシ						
にしきぎ	ケムシ類						
だいおうしょう	シンクイムシ類						
さかき	ハマキムシ類						
さんごじゅ	ワタノメイガ						
芝	コガネムシ類幼虫	1平方メートル 当り3L		発生初期			
	シバツトガ、スジキリヨトウ	0.3～2L					
		シバオサゾウムシ	1平方メートル 当り3L	幼虫発生期			
トマト	アブラムシ類、オオニジュウヤホシテントウ	2,000	100～300ml/ 平方メートル	収穫前日まで	2回以内		
なす	アブラムシ類、テントウムシダマシ類	1,000			5回以内		
ばれいしょ					収穫3日前まで		6回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法	
きゅうり、メロン、しろうり	アブラムシ類、アザミウマ類	1,000	100～300ml/ 平方メートル	収穫前日まで	5回以内	散布	
すいか				収穫3日前まで	6回以内		
かぼちゃ				収穫14日前まで	3回以内		
たまねぎ				収穫21日前まで	2回以内		
いちご	アブラムシ類	2,000		収穫前日まで	2回以内		
ほうれんそう		1,000		収穫21日前まで			
	ホウレンソウケナガコナダニ	2,000					
モロヘイヤ	アブラムシ類、アザミウマ類、マメコガネ、カメムシ類	1,000		収穫14日前まで			
ねぎ	アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ						
そらまめ	アブラムシ類			収穫3日前まで	3回以内		
未成熟そらまめ	シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、マメヒメサヤムシガ、アブラムシ類、マメシクイガ				4回以内		
豆類(未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)							
豆類(種実、ただし、そらまめ、だいずを除く)							
だいず				シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、マメヒメサヤムシガ、ウコンノメイガ、アメハシヨウ、アブラムシ類、アメシクイガ			
とうもろこし	アワノメイガ、カメムシ類		100～300ml/ 平方メートル	収穫7日前まで			
かんしょ	イモコガ、アブラムシ類、ヨツモンカメノコハムシ				5回以内		
ごぼう	アブラムシ類、フキノメイガ			収穫14日前まで	2回以内		
らっきょう	アザミウマ類	収穫7日前まで		本剤:2回以内、MEP:3回以内(植付前は1回以内、植付後は2回以内)			
	ネダニ類		—	植付前	本剤:1回以内、MEP:3回以内(植付前は1回以内、植付後は2回以内)	30分間種球浸漬	
かき	カキノヘタムシガ、カキホソガ、アメリカシロヒトリ、フジコナカイガラムシ、オオワタコナカイガラムシ、カメムシ類、イラガ類、ミノガ類若齢幼虫	1,000～2,000	200～700ml/ 平方メートル	収穫30日前まで	本剤:3回以内、MEP:3回以内(樹幹処理は2回以内)	散布	
うめ	アブラムシ類、アメリカシロヒトリ、ハマキムシ類			収穫14日前まで	2回以内		
おうとう	アブラムシ類				(樹幹処理及び灌注処理は合計1回以内)		
大粒種ぶどう	アブラムシ類、ブドウスカシバ、ブドウトリバ			1,000～2,000	収穫21日前まで		MEP:4回以内(収穫終了後から萌芽までは2回以内、萌芽後は2回以内)
	ハマキムシ類、ブドウトラカミキリ、キンケクチブトゾウムシ成虫			1,000			
小粒種ぶどう	アブラムシ類、ブドウスカシバ、ブドウトリバ			1,000～2,000	収穫90日前まで		
	ハマキムシ類、ブドウトラカミキリ、キンケクチブトゾウムシ成虫			1,000			

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
みかん	アブラムシ類	1,000～2,000	200～700ml/ 平方メートル	収穫14日前まで	(樹幹処理は1回以内)	散布
	ハマキムシ類、サンホーゼカイガラムシ、カメムシ類、コアオハナムグリ	1,000				
かんきつ(みかんを除く)	アブラムシ類	1,000～1,000		収穫3日前まで	(樹幹処理は1回以内)	
	ハマキムシ類、サンホーゼカイガラムシ、カメムシ類、コアオハナムグリ	1,000				
もも	アブラムシ類、モモハモグリガ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、クワシロカイガラムシ、カメムシ類			収穫30日前まで	MEP:6回以内(樹幹処理は1回以内)	
りんご	アブラムシ類、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、ナシグンバイ			収穫21日前まで	3回以内	
(無袋栽培)	アブラムシ類、ナシグンバイ、ナシホソガ、ナシチビガ			収穫120日前まで	6回以内	樹幹散布
	クワコナカイガラムシ	1,500				
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ	50	0.3～3L/樹	収穫120日前まで	3回以内	樹幹散布
オリーブ(葉)						
うど	アブラムシ類、ヨトウムシ、センノカミキリ、ヒメシロコブゾウムシ、ウドノメイガ	1,000	100～300ml/ 平方メートル	根株養成期但し、 収穫150日前まで	4回以内	散布
たらのき	センノカミキリ幼虫、ヒメシロコブゾウムシ	100	150～300ml/ 平方メートル	3～5月株養成期	2回以内	樹幹散布
桑	クワゾウムシ成虫	500	100～300ml/ 平方メートル	成虫発生期	6回以内	散布
稲	イネシンガレセンチュウ	1,000	－	は種前	(種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	6～72時間浸漬

効果・薬害等の注意

- ボルドー液との混用は散布直前にいき、できるだけ早く使用してください。その他のアルカリ性の強い農薬とは混用しないでください(分解)。
- あぶらな科作物にはかからないようにしてください(薬害)。
- 桃の初期(5～6月)、ほうれんそうの幼苗期は薬害が出ることもある。梨の早生赤種、りんごの旭及びその近縁種、開花期の花き類への使用はさけてください(薬害)。ひのきに対しては個体によって落葉、枯損のおそれがあるのでかからないように注意。
- 芝のコガネムシ類幼虫には、散布液が土壤中に十分しみ込むようジョロ等で1平方メートル当り3L散布してください。
- かきのミノガ類には若齢幼虫期に散布してください(効果)。
- 果樹のカメムシ類に対しては、発生に応じて所定使用回数以内で繰り返し散布してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)